

安全データシート

この安全データシートには、製品（マイフリーガード犬用）、主成分（フィプロニル）及び溶剤（ジエチレングリコールモノエチルエーテル）の情報を記載しております。ご混同されること無くご理解下さいますようお願いいたします。

作成 2012年12月17日
改訂 2023年12月14日

1 化学品情報及び会社情報

製品名 : マイフリーガード犬用

会社名（販売元） : ささえあ製薬株式会社
住 所 : 東京都品川区上大崎2丁目13番2号 フジタビル4F
担当部門 : 学術部
電話番号 : 03-5488-8808
FAX番号 : 03-3441-3030

会社名（製造販売元） : フジタ製薬株式会社
住 所 : 東京都八王子市栢田町1211
担当部門 : 東京工場 品質管理課
電話番号 : 042-661-5528
FAX番号 : 042-665-3239

2 危険有害性の要約（マイフリーガード犬用）

物理化学的危険性 : 該当なし
(記載が無い項目は分類対象外又は区分外又は分類できない)

健康に対する有害性 : 急性毒性（経口） 区分4
急性毒性（経皮） 区分5
急性毒性（吸入） 区分4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性 区分2
発がん性 区分2
生殖毒性 区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分1（神経系）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1（中枢神経系、甲状腺、肝臓、腎臓、血液系）
(記載が無い項目は区分外又は分類できない)

水生環境急性有害性 : 急性1
水生環境慢性有害性 : 慢性1
絵表示 :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込むと有害
皮膚に接触すると有害のおそれ
吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害（神経系）
長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（中枢神経系、甲状腺、肝臓、腎臓、血液系）
水生生物に非常に強い毒性

| | |
|-----------|---|
| その他（安全対策） | ： 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 ： 取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。 吸入を避けること。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。 使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 必要な時以外は環境への放出を避けること。 |
| （応急措置） | ： 飲み込んだ場合：医療処置を受けること。 口をすすぐこと。 皮膚に付着した場合：医療処置を受けること。 皮膚についた場合：多量の水で洗うこと。 特別な処置が必要である。 皮膚刺激が生じた場合：医療処置を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。 ばく露またはその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。 ばく露またはその懸念がある場合：すぐに救急の医療処置を受けること。 気分が悪い時は、診察を受けること。 漏出物を回収すること。 |
| （保 管） | ： 施錠して保管すること。 |
| （廃 棄） | ： 内容物や容器は地方公共団体条例等に従って廃棄すること。 |

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量 : フィプロニル 100.0 mg / mL 含有製剤
主成分の化学名 : フィプロニル (Fipronil)
主成分の化学式 : $C_{12}H_4Cl_2F_6N_4OS$
主成分のCAS No. : 120068-37-3
化管法 : 管理番号：22, 2021年改正 政令番号：1-023

代表的な溶剤 : ジエチレングリコールモノエチルエーテル
成分の化学名 : ジエチレングリコールモノエチルエーテル
(Diethylene Glycol Monoethyl Ether)
成分の化学式 : $C_5H_{12}O_3$
成分のCAS No. : 111-90-0

4 応急措置（マイフリーガード犬用）

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、保温する。必要な場合は医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部は直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流す。異常を感じた場合は医師の診察を受ける。
眼に入った場合 : 直ちに多量の水で眼を洗浄し、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 使用者等が本剤を誤って摂取した場合は、吐き出させないですぐに医師の診察を受ける。
フィプロニルによる中毒に対しては、実験動物においてフェノバルビタールが有効であると報告されている。

5 火災時の措置（マイフリーガード犬用）

適切な消火剤 : 水、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス消火剤が有効である。
使ってはならない消火剤 : 特になし。
特有の危険有害性 : 熱分解により有害ガスが発生する恐れがあるので注意する。
消火を行う者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

6 漏出時の措置（マイフリーガード犬用）

人体に対する注意事項, : 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
保護具及び緊急時措置

| | |
|-----------------|---|
| 環境に対する注意事項 | : 環境への放出を避けること。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : 接触を避けるためゴム手袋, 保護マスク及び保護メガネを着用の上, 漏出液をおがくず, ウェス等に吸着させてから容器内に回収し密閉する。その後大量の水を用いて洗い流す。この場合, 溶液等を大量に含んだ廃液が環境や水系を汚染しないように注意する。 |
| 回収・中和 | : 利用可能な情報はない。 |
| 二次災害の防止策 | : 利用可能な情報はない。 |

7 取扱い及び保管上の注意 (マイフリーガード犬用)

| | |
|---------|---|
| 取扱い上の注意 | : 取扱う前には必ず使用上の注意を良く読むこと。 内容液を直接手で触らないこと。内容液が皮膚に付着した場合は, まれに一過性の皮膚反応が起こることがあるので, 作業後は石けん等で手をよく洗うこと。 本剤投与後, 投与部位が濡れている間は投与部位に直接触れないこと。 また, 投与したことを知らない人も触れないように注意すること。特に小児が, 投与した犬に触れないように注意すること。 飲食, 喫煙をしながら投与しないこと。 本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。 |
| 保管上の注意 | : 火気厳禁 直射日光を避け, なるべく低温で乾燥した場所に保管すること。 誤用を避け, 品質を保持するために, 他の容器に入れかえない。 |

8 ばく露防止及び保護措置 (マイフリーガード犬用)

| | |
|------|--|
| 許容濃度 | : 日本産業衛生学会 未設定 米国産業衛生専門家会議 (ACGIH) 未設定 |
| 管理濃度 | : 作業環境評価基準 未設定 |
| 設備対策 | : 作業場の空気を汚染しないように, 換気を適正に行うことが望ましい。 |
| 保護具 | : 適切な呼吸器保護具, 保護手袋, 眼の保護具及び保護衣を着用すること。 |
| 衛生対策 | : 取扱う前に表示されている事項をよく読むこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 |

9 物理的及び化学的性質 (マイフリーガード犬用)

| | |
|----------------|---------------|
| 外観 | : 微黄色～淡黄色澄明液体 |
| 臭い | : 有機溶剤臭 |
| pH | : 5-7 |
| 融点・凝固点 | : データなし |
| 沸点, 初留点及び沸騰範囲 | : データなし |
| 可燃性 | : データなし |
| 引火点 | : 97°C |
| 蒸発速度 | : データなし |
| 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 比重 (相対密度) | : 1.02 |
| 溶解度 | : データなし |
| n-オクタノール/水分配係数 | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 動粘性率 | : データなし |
| 相対ガス密度 | : データなし |
| 粒子特性 | : データなし |

10 安定性及び反応性 (マイフリーガード犬用)

| | |
|------------|-------------------|
| 安定性 | : 室温保存においては安定である。 |
| 反応性 | : 危険性のある反応性はない。 |
| 危険有害反応可能性 | : データなし |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし |
| その他 | : 可燃性あり |

1 1 有害性情報（マイフリーガード犬用）

| | |
|-----------------------|---|
| 急性毒性 | : 経口 LD50 97mg/kg（ラット）（フィプロニル） その他文献情報から製剤として区分4とした。 |
| | 経皮 LC50 354 mg/kg（ウサギ）（フィプロニル） その他文献情報から製剤として区分5とした。 |
| | 吸入 LC50 0.36 mg/L（ラット，雄，粉じん，4時間）（フィプロニル） その他文献情報から製剤として区分4とした。 |
| 皮膚腐食性及び 皮膚刺激性 | : 文献情報から製剤として区分2とした。 |
| 眼に対する重篤な 損傷性又は眼刺激性 | : 文献情報から製剤として区分2とした。 |
| 呼吸器感作性 | : データなし |
| 皮膚感作性 | : データなし |
| 生殖細胞変異原性 | : データなし |
| 発がん性 | : 文献情報から製剤として区分2とした。 |
| 生殖毒性 | : 文献情報から製剤として区分2とした。 |
| 特定標的臓器毒性 （単回ばく露） | : 文献情報から製剤として区分1（神経系）とした。 |
| 特定標的臓器毒性 （反復ばく露） | : 文献情報から製剤として区分1（中枢神経系，甲状腺，肝臓，腎臓， 血液系）とした。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | : データなし |

1 2 環境影響情報（マイフリーガード犬用）

| | |
|---------|--|
| 生態毒性 | : 水生環境急性有害性 ErC50 0.074 mg/L（緑藻）（フィプロニル） その他文献情報から製剤として急性1とした。 |
| | 水生環境慢性有害性 文献情報から製剤として慢性1とした。 |
| 残留性・分解性 | : データなし |
| 生体蓄積性 | : データなし |
| 土壌中の移動性 | : データなし |
| オゾン層有害性 | : データなし |

1 3 廃棄上の注意（マイフリーガード犬用）

| | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | : 残余廃棄物は環境や水系を汚染しないように注意し，地方公共団体条例等に 従い処分すること。 |
| 汚染容器及び包装 | : 空容器等は環境や水系を汚染しないように注意し，地方公共団体条例等に 従い処分すること。 |

1 4 輸送上の注意（マイフリーガード犬用）

| | |
|---------|---|
| 国内規制 陸上 | : 該当しない |
| 海上 | : 船舶安全法の規制に従う |
| 航空 | : 航空法の規制に従う |
| その他 | : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ，転倒，落下，損傷がない よう積み込み，荷くずれの防止を確実にこなう。 |

1 5 適用法令（マイフリーガード犬用）

| | |
|-------------------|--|
| 医薬品医療機器等法 | : 動物用医薬品 |
| 化管法 | : 第1種指定化学物質 フィプロニル （管理番号：22，2021年改正 政令番号：1-023） |
| 毒劇法 | : 該当なし |
| 消防法 | : 危険物第4類第3石油類（危険等級Ⅲ） |
| 危険物船舶運送 及び貯蔵規則 | : 該当なし |

1 6 その他の情報

| | |
|-------------------|--|
| 引用文献 | |
| 職場のあんぜんサイト（厚生労働省） | |

独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂9版
J I S Z 7 2 5 2 : 2 0 1 9 及び J I S Z 7 2 5 3 : 2 0 1 9
独立行政法人 科学技術振興機構 日本化学物質辞書
http://nikkajiweb.jst.go.jp/nikkaji_web/pages/top.jsp
United States National Library of Medicine TOXNET (Toxicology Data Netweb)
<http://toxnet.nlm.nih.gov>
フジタ製薬株式会社 社内資料

※このSDSは改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には予告なく追加または訂正をいたしますので必要の都度最新のSDSをご確認いただけますようお願いいたします。